

自然災害に備える

地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。日頃から地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めておきましょう。

自助

自分の命は
自分で守る



共助

自分たちの地域は
自分たちで守る



公助

町や県、国、防災関係機関が
住民等を援助する



住民同士が協力して地域の防災力を高めよう

警戒レベルと避難行動

水害や土砂災害の危険があるときには、町から警戒レベル3「高齢者等避難」、警戒レベル4「避難指示」を発令します。町からの避難情報に合わせて、速やかに安全な場所へ避難しましょう。また、平時から防災・気象情報を確認しましょう。



避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川やがけから少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、その時点で最善の安全確保行動をとることも重要です。

●警戒レベルと、みなさんがとるべき行動

警戒レベル※1	避難情報等	みなさんがとるべき行動	避難行動をとる際に参考とする 防災気象情報等
警戒レベル5	緊急安全確保	●既に 災害が発生 している状況です。 ● 命を守るための最善の行動 をと りましょう。	氾濫発生情報 大雨特別警報(浸水・土砂災害)
警戒レベル4 全員避難	避難指示	● 危険な場所から退避 しましょう。 ●避難先までの移動が危険と思 われる場合は、近くの安全な場 所や、自宅内のより安全な場所 に避難しましょう。	洪水警報の危険度分布『非常に危険』※2 土砂災害警戒情報 大雨警報(土砂災害)の危険度分布 『非常に危険』『極めて危険』※2
警戒レベル3 高齢者等は 避難	高齢者等避難	● 避難に時間を要する人(ご高齢 の方、障害のある方、乳幼児等) とその支援者 は避難をしまし ょう。そのほかの人は避難の準備 を整えましょう。	洪水警報 大雨警報(土砂災害) 大雨警報(土砂災害)の危険度分布『警戒』※2 洪水警報の危険度分布『警戒』※2
警戒レベル2		●避難に備え、ハザードマップ等 により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	大雨注意報 洪水注意報
警戒レベル1		●災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(警報級の可能性)

(※1) 警戒レベルは低い順から出るとは限りません。いきなり「警戒レベル4 避難指示」を発令することがあります。

(※2) 「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」「洪水警報の危険度分布」は気象庁ホームページで閲覧できます。

マイタイムラインをつくろう

洪水などの災害が発生する前に安全な場所へ移動するためには、大雨が降る前から、あらかじめ「いつ、何をするか」整理しておくスムーズです。「マイタイムライン」を活用して、洪水時の行動を整理しておきましょう。

平常時

日頃から

大雨のおそれ

避難開始時期

災害発生

災害発生数日前～前日

災害発生当日

災害発生

気象・避難情報	あらかじめ確認しておくこと／行動内容	
	ハザードマップで自分の住んでいる場所の災害リスクを確認	
	自宅が	●浸水想定区域内に ☐ ある(浸水深 m) ☐ ない ●土砂災害(特別)警戒区域内に ☐ ある ☐ ない
	避難場所の確認	
	●避難場所： ●移動時間： 分 ●移動方法：	
	避難の際、支援が必要な家族・知人の確認	
	●名前：	電話番号：
	●名前：	電話番号：
	避難の際、支援してくれる人の確認	
	●名前：	電話番号：
	●名前：	電話番号：
	非常持ち出し袋を準備 →P.22を参考にチェック!	
大雨や 台風接近の予報	●非常持ち出し品リストの確認 ●1週間分の常備薬を確保 ●テレビの天気予報を確認 ●家族の今後の予定を確認	●防災情報の取得方法を確認 テレビdボタン
警戒レベル1 早期注意情報		●親類や知人宅への避難を検討 ☐
警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報	●ハザードマップを確認 ●避難しやすい服装に着替える ●携帯電話を充電しておく	☐
大雨警報、洪水警報 氾濫警戒情報	●川の水位や雨量(住んでいるところと その上流)を確認 ●川の水位をインターネット等で確認 ●テレビ等で洪水予報を確認	☐
警戒レベル3 高齢者等避難	●避難場所等への避難を完了	☐
氾濫危険情報 土砂災害警戒情報	避難が必要な方はこの時点までに全員、安全な場所に避難完了するよう行動を!	
警戒レベル4 避難指示		
氾濫発生情報 大雨特別警報	※避難が完了していない場合は直ちに避難開始	
警戒レベル5 緊急安全確保	※外に出ることが危険な場合は、建物内の安全な場所で身の安全を確保する	